

- 1 だいてもくは、一ぎようめに、学年・学校・組・名まえは一ぎようめに書き、文しうは三ぎようめの二はんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらくしうにぎようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのぎようも三はんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

( ) 月 日 曜日

「ありがとう」のおにぎり  
 田崎小学校 四年 江口 心陽  
 「こわいなあ：」。

そう思ったのは、七月の大雨の日のことです。  
 雨がどんどんふりつづき、道路に水がたまっ  
 てきていました。

「学校、お休みだっ。」  
 と、お母さんが言いました。そして、  
 「わあ、これすごいよ。」  
 とあわてて、写真を見せました。

「本当だ、すごい。外はこんなになっ  
 ているの。」

その写真には、水につかっ  
 た車や家が写って  
 いました。  
 「こんなになるなんて：。初めて。」  
 とお母さんも心配そうな顔で写真を見つめて  
 いました。

その日のニュースでは、わたしの住んでい  
 る鹿屋市が取り上げられました。いろんな所  
 でがけくずれも起こっていました。そして、

- 4 、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなししたところは、「」の中に入れてきようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいきは、いきようめに、学年・学校・組・名まえはニぎようめに書き、文しよはニぎようめの「ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらく「とにぎようをかえましよう。
- 3 詩や文は、とにぎようも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

( ) 月 日 曜日

川の水があふれ、家の半分まで水がたまっ  
た地いきでは、きゅう命ボートで助け出された  
人もいました。

それからしばらくたつた土曜日、わたしの  
所ぞくしているバレエボール少年団のかんと  
くが言いました。

「ひさい地でボランテイア活動をしている方  
々におにぎりをとどけよう。」

それを聞いてわたしは、とてもいいアイデー  
アだと思いました。

公民館に集まっつてみんなでおにぎり作り開  
始です。たきたてのごはんにおしおをまぶし  
て、手の平にのせます。

「じょうずににぎれるかなあ。」  
わたしは、少しきんちようしました。

「ありがとうの気持ちをとめて作るんだよ。」  
とかんとくが言いました。わたしは、

「ありがとうの味が伝わりますように。」  
と、ぎゅっとか強く思いをとめてにぎりまし  
た。

- 4 、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてきようをかえて、おはなだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいちくは、一ぎようめに、学年・学校・組・名まえは二ぎようめに書き、文しよは三ぎようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらく( )にぎようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのぎようも三ばんめのマスから書き、あたまをさるえましよう。

( ) 月 日 曜日

「さあ、着いたよ。」

そう言われて車からおりると、そこには、どろだらけになって働くボランティアの人たちがたくさんいました。どきどきしながら、

「わたしたちが作ったおにぎりです。食べてください。」

と言って、おにぎりをわたしました。

「わあ、これ、みんなで作ったの。まだ温かいね。」

「おにぎり最高。おにぎりパワーでがんばれるよ。」

と、みんながよろこんでくれました。たくさんの人が笑顔で受け取ってくれたので、わたしもとてもうれしくなりました。

まわりを見ると、がけくずれでどろにつぶされた家や車がありました。もとにもどるまでまだまだ時間がかかりそうです。

「ありがとうございます。」

わたしは、おにぎりをぎゅっとにぎった時と同じように心の強くなりました。

- 4 と、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてぎようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

(不許複製)

